スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

【岩手県宮古市】
令和５年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

自治体名	岩手県宮古市
担当課名	宮古市教育委員会事務局 生涯学習課
電話番号	０１９３－６８－９１２０

1．自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

人　口（令和6年1月1日現在）	４６，８６６人	部活動数	７９　部活
公立中学校数 （令和5年5月1日現在）	１１校	宮古市の検討委員会の設置状況	「宮古市部活動地域移行検討委員会」 令和５年６月１日設置
公立中学校生徒数 （令和5年5月1日現在）	１，００４人	宮古市の推進計画・ガイドラインの等の策定状況	－

地域連携･地域移行における市区町村の現状･課題

岩手県の沿岸部のほぼ中央、本州では最東端に位置しています。東に太平洋を望み、西は北上山地を仰ぎ、市の西側は県都盛岡市と隣接し、南側は花巻市、遠野市、山田町に、北側は、岩泉町に接しています。総面積は1,259.15平方㎞で岩手県の総面積8.2%を占めています。

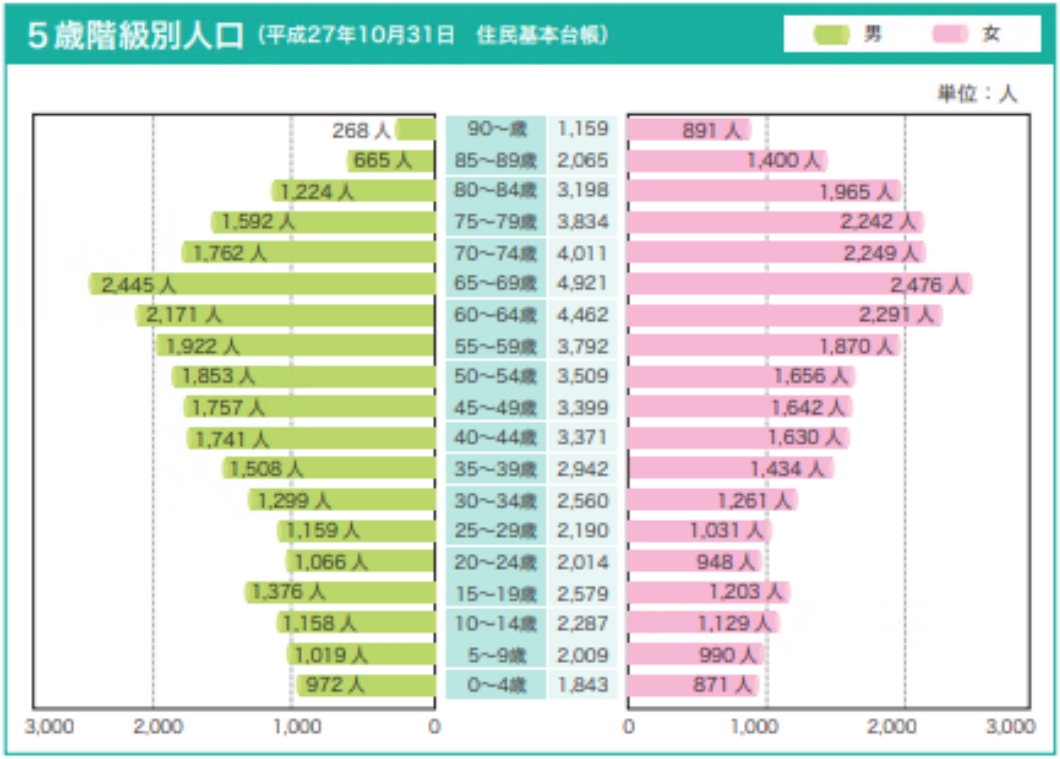
都道県内で、北海道に次ぐ広大な面積を有する岩手県の中で、宮古市は市町村の中で市域（面積）が一番広い市となります。

また、市域が広いことから、山間部、沿岸部、中山間部の小規模校から市街地付近の比較的生徒が多い中学校まで様々です。

生徒の競技に対するニーズも多様となっている現状から、生徒、保護者、学校等（教員）、スポーツ関係団体等の実態の把握が今後の方向性に必要不可欠となります。

今後、少子化がますます進行することが予想されます。団体スポーツ等は、広い市域の各地区から拠点施設に集まっての活動が主体となることを予想されます。この際に移動手段、移動に係る経費負担や活動経費の負担が大きな課題となります。

また、指導者の確保、指導者の資質の向上、地域スポーツクラブの受け皿となる体制整備も大きな課題となります。

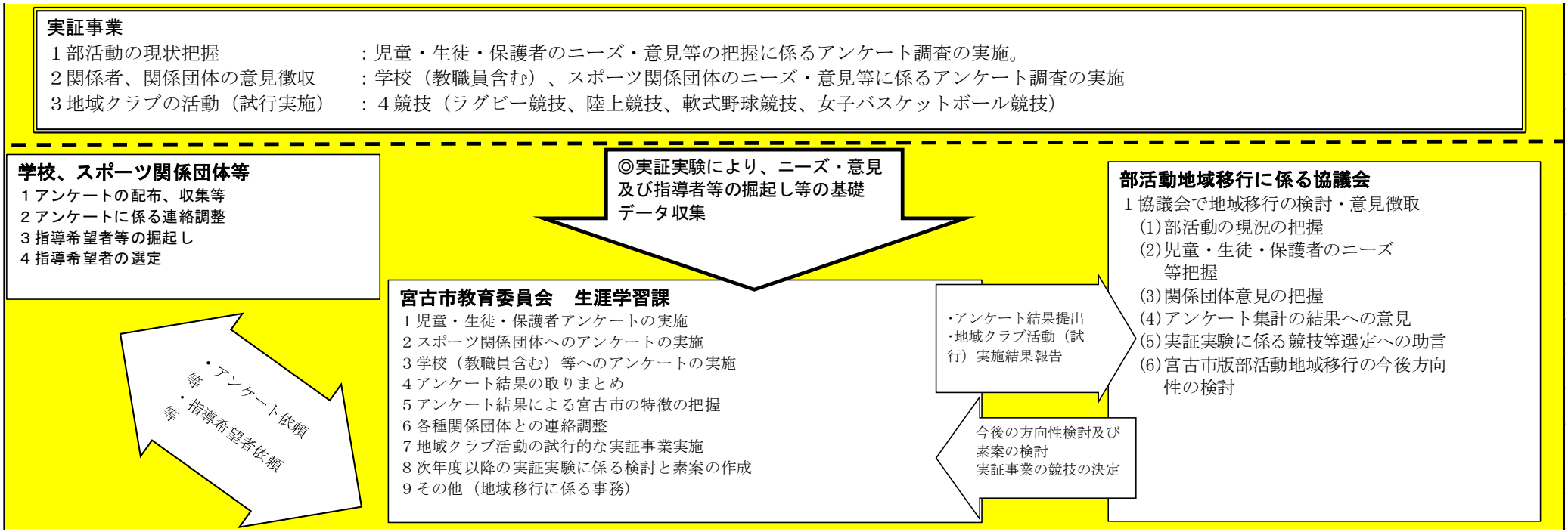


2．実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制･役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

○教育委員会事務局
　現状把握（アンケート調査、試行的な実証事業の実施）、検討委員会の運営
○首長部局
　試行的な実証事業実施に係る施設利用への協力。教育委員会事務局等との連携

年間の事業スケジュール

2．実証内容と成果

スポーツ庁

年間の事業スケジュール

時　期	内　容
６月１日	「宮古市部活動地域移行検討委員会」設置
１０月６日	宮古市補正（９月定例会議）予算議決
９月１９日	第１回宮古市部活動地域移行検討委員会」開催
１０月～１２月	地域クラブ活動実施団体調整・アンケート素案検討
１月～２月	地域クラブ活動（実証事業）実施、アンケート実施
２月１５日（予定）	「第２回宮古市部活動地域移行検討委員会」開催

実証事業の概要

【アンケートの実施】
対象　：　市内の中学生・小学生（４年生～６年生）及び保護者、中学校教員、スポーツ関係団体（競技団体）
方法　：　小学生･中学生及び保護者タブレットにより回答、中学校教員、スポーツ関係団体はロゴフォームにより回答

【地域スポーツクラブ活動の試行的な実施】
対象　：　市市内中学生(1年生～2年生）※総数　：　11校　1004名
競技　：　ラグビーフットボール競技（参加者９名）、陸上競技（参加者３名）、軟式野球競技（参加者15名）、
　　女子バスケットボール競技（参加者15名）
拠点　：　市民総合体育館（ラグビー）、宮古運動公園陸上競技場（陸上）
　　グリーンピア三陸みやこ多目的アリーナ（軟式野球）、第一中学校体育館（女子バスケットボール）

2．実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

拠点校数	１校、３施設	地域クラブ活動に取り組んだ種目	ラグビーフットボール競技、陸上競技、軟式野球競技、女子バスケットボール競技
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	２部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	社会体育施設、民間体育施設、学校体育館
地域クラブ活動に移行した部活動数	２部活
地域クラブ活動で実施した種目	ラグビーフットボール（R6.1.27(土)） 陸上競技(R6.1.28(日)) 軟式野球、女子バスケットボール（R6.2.4）
運営主体名	宮古市
運営類型	市町村運営型（地域団体・人材活用型）
１か月あたりの平均的な活動回数	ラグビー：１回、陸上競技：１回 野球：１回、女子バスケ：１回
指導者の主な属性	地域活動団体（ラグビーフットボール） 総合型地域スポーツクラブ（陸上競技） 地域団体＋選抜チーム指導者（教員）（軟式野球） 競技団体（女子バスケットボール）
活動場所	宮古市民総合体育館（ラグビー） 宮古運動公園陸上競技場（陸上競技） グリーンピア三陸多目的アリーナ（軟式野球） 第一中学校体育館（女子バスケットボール）
主な移動手段	貸切送迎バス、保護者による送迎、 徒歩・自転車
１人あたりの参加会費等（年額）	ラグビーフットボール：0円、陸上競技：0円 軟式野球：0円、女子バスケットボール：0円
１人あたりの保険料	民間保険会社（AIG損害保険（株） ラグビー競技：１人あたり：216円/日 陸上、野球、バスケ：１人あたり：108円/日

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）

宮　古　市（宮古市教育委員会）

○実施団体の調整（実施日、練習内容）
○指導者の確保及び調整
○会場の確保及び調整
○必要物品の調達及び資機材の調整
○移動手段（試行：送迎バス）の確保
○参加者募集及び学校側との調整
○謝礼・保険加入等事務

市内中学校

○参加者の取り纏め
○生徒の参加
○事業に係る意見
○学校開放事業団体との調整

地域クラブ協力団体

○指導者の選定　○練習内容の検討
○練習機材の手配　○日程調整　○生徒への指導

ラグビー　：ラグビースクール（既存の活動団体）
陸　上　：総合型地域スポーツクラブ（陸上）
軟式野球　：地域活動団体＋地区選抜チーム（教員）＋部活動指導員
女子バスケ　：宮古市バスケットボール協会

2．実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：ア．関係者との連絡調整･指導助言等の体制や運営団体･実施主体の整備

取組事項	中学校休日の部活動の地域移行に向けた関係者の検討委員会として「宮古市部活動地域移行検討委員会」を設置した。
取組の成果	「宮古市部活動地域移行検討委員会」要綱を令和５年６月１日から施行 委員は１０人で、教育長、学校教育関係者、体育スポーツ団体関係者、文化・芸術団体の関係者、社会教育団体の関係者で組織している。 第１回の会議においては、宮古市の部活動の現状を把握するとともに、今後のスケジュール及び試験的な地域スポーツクラブの実証事業における実施競技について協議を行った。 また、第２回においては、地域スポーツクラブの実証事業の結果を報告するとともに、課題と成果を共有し今後の方向性の意見交換を行った。
特に工夫した事項	委員は、学校教育関係者として、宮古地区中学校体育連盟会長、小学校体育連盟会長、中学校文化連盟会長を充てた。また、スポーツ関係団体として、体育協会専務理事、スポーツ少年団本部長を充て、保護者の代表として宮古市PTA連合会長に委嘱した。 なお、文化部に係る委員として、芸術文化協会会長及び郷土芸能団体連絡協議会会長も名を連ねる。 また、オブザーバーとして、高等学校体育連盟宮古支部長と宮古地域の中核となる宮古高校の校長先生にも出席いただき、意見をいただく取組みを行った。
今後の課題と対応方針	児童、生徒、保護者においても様々な意見があることから、当検討委員会の今後の検討において、段階的に地域へ移行できる競技や生徒等への宮古市の支援の方向性を更に協議を進める必要がある。

2．実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証･量の確保 【ラグビーフットボール競技】

取組事項

○実施した４種目において、指導者の所属する団体のタイプを変え、今後の地域移行の検討の実証を行った。
【ラグビー：既存スクール指導者の活用】
既存のラグビースクール（宮古市ラグビー協会）の５名の指導者（ラグビースクール）で実施。
うち３名はJRFUのC級コーチ資格を有する者が指導。

取組の成果

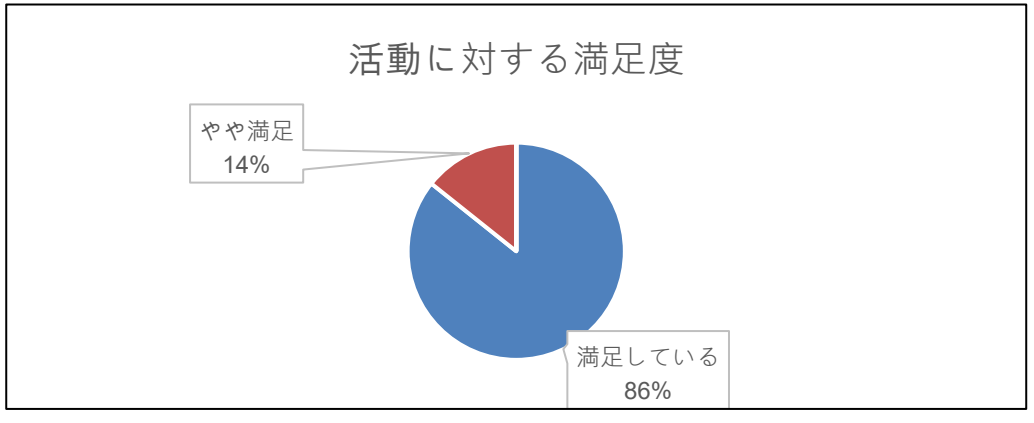
良かった点：ラグビー未経験者が参加しての練習会であった。未経験者への指導も丁寧であり参加者アンケートにおいても「楽しかった」「またやってみたい」との意見があり、指導者の資質面での充実を確認することができた。
課題点・今後実施事項：参加者が９名であった。参加者が多い場合の指導者が確保できるか、今後確認しておきたい。

特に工夫した事項

経験者と未経験者が参加できる練習会とした。
冬季の活動であるため、天候等に左右されないよう室内での練習会とした。
部活動の活動時間は、２時間実施とした。
上記の環境の中で常に体を動かしながら、ラグビーの基本的な技術と楽しさを伝える指導を行ったこと。
※良いプレーに対して、指導者、参加生徒で賞賛する声があり、生徒の自信と楽しさに繋がっているように見受けられた。

今後の課題と対応方針

指導者から、あげられた課題として、休日部活動の地域移行の現在検討が行われているが、平日もラグビースクールは活動しており、拠点施設の活動を行う際に市内でも遠方の中学校からの移動手段に課題がある。公共交通の活用等が対応として考えられる。



2．実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証･量の確保 【陸上競技】

取組事項

○実施した４種目において、指導者の所属する団体のタイプを変え今後の地域移行の検討の実証を行った。
【陸上競技：シーアリーナスポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブ）指導者の活用】
総合型地域スポーツクラブ（シーアリーナスポーツクラブ）の２名の指導者で実施。
２名ともにトレーニング指導士の資格を有する者が指導。※うち一人は、通年で陸上競技指導を教室で実施している。

取組の成果

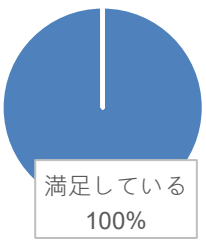
良かった点：参加者は、陸上競技経験者（特設陸上部）であり、専門が長距離、投てき競技、跳躍競技（高跳び）であった。いずれの競技にも共通する「走り方」について股関節の使い方や地面に力を伝えるフォームなどの指導を受けた。ポイントを分かりやすく指導しており、練習会終盤の参加者のフォームには力強さが加わり短い時間ではあったが成果が見られた。
課題点・今後実施事項：今回は競技の基本の指導であったが、各種目の専門的な指導においては陸上競技協会の協力も不可欠である。

特に工夫した事項

宮古運動公園陸上競技場を拠点とした練習会であり、冬季の本陸上競技場は、県内外の陸上競技部が合宿や練習に多く訪れている。練習会当日も、盛岡第三高等学校や秋田県の陸上競技の強豪校である秋田令和高等学校も練習を行っていた。
練習会においては、指導者の繋がりから、強豪校の練習を間近に見られた。上位レベル高校生の練習している姿をお手本や参考として、参加者の指導に活かすことができた。

今後の課題と対応方針

今回の実証事業は、短距離走を中心に開催した。参加者が３名と少なく、陸上競技の各種目の指導ができれば、参加者の増につながると思われる。ついては、今後は陸上競技協会との連携による指導も必要である。



2．実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証･量の確保 【軟式野球競技】

取組事項

○実施した４種目において、指導者の所属する団体のタイプを変え今後の地域移行の検討の実証を行った。
【軟式野球競技：地域スポーツ活動団体、部活動指導員、中学校の宮古地区選抜チーム指導者（教員）が連携した指導】
指導者７名　内訳：地域スポーツ活動団体（3名）、部活動指導員（1名）、選抜チーム指導者（教員3名）

取組の成果

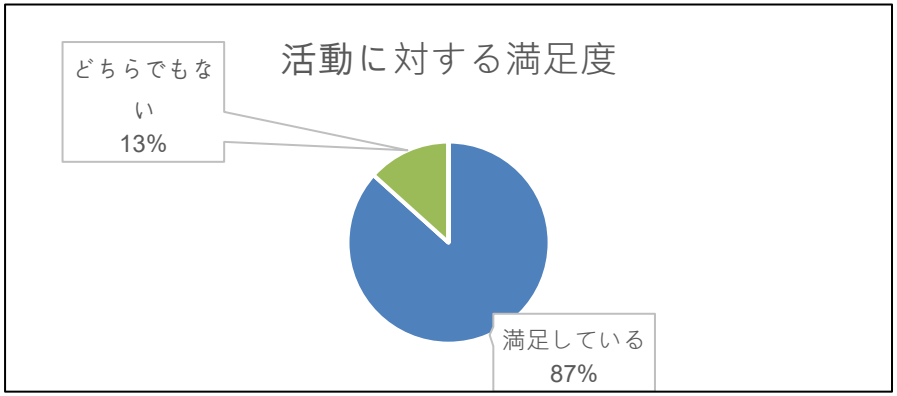
良かった点：複数の立場の指導者が連携して、練習会に取組む実験的な取組ができた。今回の練習会の事前の打合せにおいて、教員の指導者の指導力が高いとの意見もあり、部活動指導員、地域活動団体が教員の指導をサポートする形態での練習会となった。予め、メニューや目的を共有しての練習であり、アンケート結果から充実した練習内容であったことが伺えた。
課題点・今後実施事項：野球は、比較的指導できる団体・個人が多いが、指導者受け皿となる団体と指導者間の指導方針の共有が必要である。

特に工夫した事項

指導者が所属する団体が、複数あるケースでの実証事業として開催した。地域スポーツ活動団体、部活動指導員、教員が連携した活動となるため、事前の打合せ等を行い練習の目的、メニュー、役割分担など方向性の共有ができるよう実施できた。
また、冬季で市の野球場が閉鎖されている時期であったが、各球場にあるネット等を活用し、広い屋内運動施設で練習を行うことができた。

今後の課題と対応方針

軟式野球競技は、現在合同チームでのチーム編成となっている。
参加した保護者から、「今回の練習会は冬季の練習であるため影響はないが、シーズン中の合同練習は中総体などで勝敗に影響があるのでは」との意見があった。
様々な考え方があることから、今後、部活動の目的や競技団体等での方向性の協議が必要である。



2．実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証･量の確保 【女子バスケットボール競技】

取組事項

○実施した４種目において、指導者の所属する団体のタイプを変え今後の地域移行の検討の実証を行った。
【女子バスケ競技：宮古市バスケットボール協会】
指導者３名

取組の成果

良かった点：参加者の申込時点において、経験者、未経験者の区分で申込受付を行った。参加者はすべて経験者であったが、練習会の実施において、小学生から始めた生徒と中学生になってから始めた生徒があった。そのため、生徒に基本練習希望者と実践練習希望者を募り班分けしての練習を行った。指導においても後半はゲーム形式であったが、それぞれのレベルでの上達に対して、声がけをする指導が行われ、それぞれの生徒が成功体験を得られたように見受けられた。

課題点・今後実施事項：バスケットボール競技は男子、女子があり、指導者も多いことから、今後の地域移行においては、各指導者及び競技団体の調整を十分にする必要がある。

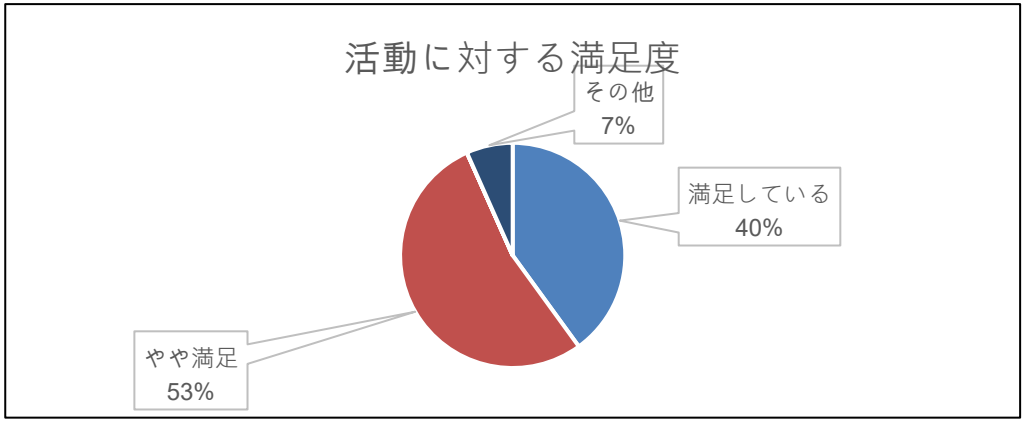
特に工夫した事項

競技の経験年数の違いから技術のレベルに違いがあったが、基本的な技術練習を行う班と実践的な練習を行う班に分けてレベルに合わせた指導を行う手法で練習会を実施した。

生徒のレベルに応じて練習した成果が見られた際には、褒めるなどの声がけを行い、それぞれの成長に寄り添う指導を行った。

今後の課題と対応方針

バスケットボールは、男女を合わせると、部活動として活動しているチーム数は、他の競技よりも比較的多い。今後、地域移行において、まとまった活動を行う場合にはそれぞれの団体の指導者や競技団体と方向性を協議し地域移行への検討を行う必要がある。



2．実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：ウ：関係団体･分野との連携強化

取組事項	○「宮古市部活動地域移行検討委員会」により、実証事業での実施結果等を踏まえ、今後の地域移行の検討を行った。 ○本実証事業において、地域移行に関係する団体と練習会を開催し、今後の地域移行に向け連携し課題等の掘起しを行った。
取組の成果	○「宮古市部活動地域移行検討委員会」により、実証事業での実施結果等を踏まえ、今後の地域移行の検討を行う。 ○本実証事業において、地域移行の係る団体と練習会を開催し、今後の地域移行に向け連携し課題等の掘起しを行うことができた。 ○本実証事業において４種目の練習会を実施した。各地域スポーツクラブの指導者を出していただいた団体や指導者と連携し運営における成果と課題の共有ができた。
特に工夫した事項	○軟式野球競技において、地域スポーツ活動団体、部活動指導委員、教員の複数の立場から指導者が集まり練習会を開催した。それぞれの役割等を分担し指導を行うことから事前打合せを行い充実した練習会となった。
今後の課題と対応方針	○地域移行の指導者は、各団体ともに人材は十分なポテンシャルである。しかし、地域移行を行ううえでの受け皿（事務局の役割を）担う場合にそれぞれの競技団体、地域活動団体ともに、本業の傍らで実施することは難しいとの意見がある。また、教員の方々も各競技に携わりたい方はいるが、転勤がある。 地域部活動の指導者としての協力は可能であるが、主体となった取組みは難しい。

対 応 の 素 案

○地域スポーツクラブの受け皿となる組織は、生業として実施できる体育協会が候補としてあげられる。

【理由】

・競技団体との連携や指導者講習会の開催をすでに実施しており、指導者の育成や斡旋の窓口として機能的である。

・市が地域移行を支援する場合においても、体育協会への委託や補助金等の手法がすでに存在している。

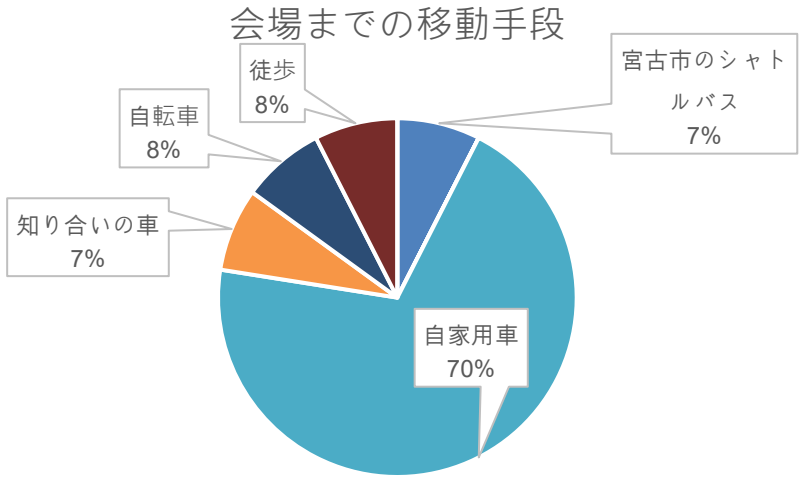
2．実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：エ：面的･広域的な取り組み

取組事項	○市内中学生、小学生（4年生～6年生）、教員・競技団体等へのアンケートの実施。 ○地域スポーツ活動の実証事業において、試行的な取組みとして送迎バスの運行し拠点での活動場所へ送迎し、移動手段を確保することで、市内各所からの参加を促す支援として有効か試行的に取組んだ。
取組の成果	○市内の中学生、小学生等にアンケートを行い市域の広い宮古市内の意見徴取を行い状況の把握を行う。 ○地域スポーツ活動の実証事業において、練習会への参加者に送迎バスを運行した。申込時点で移動手段について記載欄を設けて実施したが、利用者は全体で３名と少ない利用であった。なお、送迎バスは、申込みの多寡に関わらず、未申込者の参加や急遽移動手段が変更となった場合を想定し予定どおりに運行した。※未申込者の参加は全体で２名（移動手段は自転車）。移動手段の変更は全体１名（送迎バス利用） ○移動手段は、保護者送迎（知り合いの自動車）や徒歩・自転車の利用が多かった。
特に工夫した事項	○市域が広大な宮古市での拠点での地域スポーツクラブ活動を行う際に、公共交通機関の路線バス、鉄道の乗り継ぎを想定し、午後２時から練習開始とした。 ○同一日での開催競技の送迎バスは、乗り合わせでの運行を実施した。
今後の課題と対応方針	○参加者の大半が、保護者の送迎での参加であり、送迎バスの利用が少なかった。バスの借上げ料も高額であることから、移動の経費の支援を考えると公共交通の利用促進の課題と合わせ、必要区間について経費を支援するなどの手法を検討した。



2．実証内容と成果

取組内容

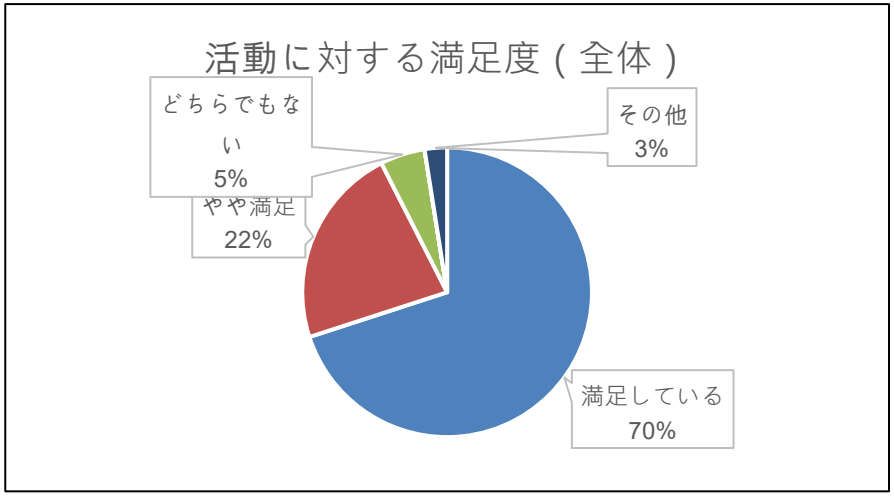
▼取組項目名：オ：内容の充実

取組事項

○ラグビー　　：地域で自主的に活動している団体（ラグビースクール）の指導者の活用
○陸上競技　　：総合型地域スポーツクラブで活動している指導者の活用
○軟式野球　　：地域活動団体、部活動指導員、教員との連携による指導
○女子バスケットボール：宮古市バスケットボール協会の指導者の活用

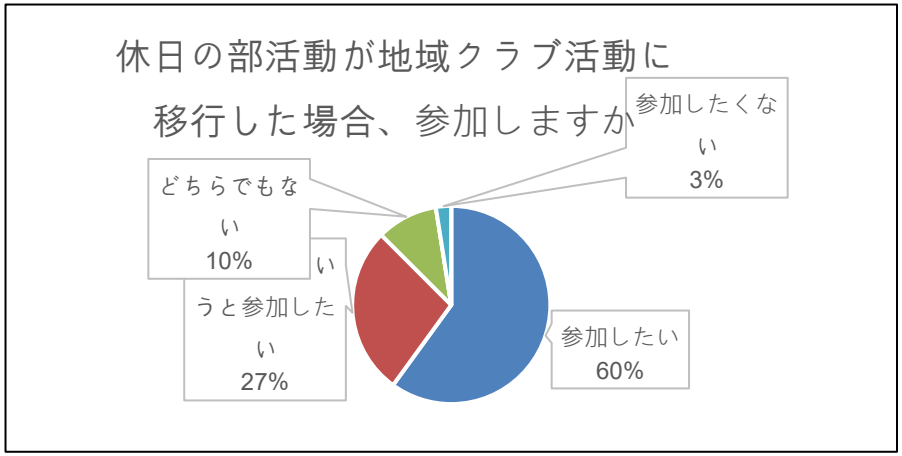
取組の成果

【ラグビー】未経験者への丁寧な指導
【陸上競技】競技の基本となる走り方の動きづくり指導。
【軟式野球】導入部のアップにおいて、アイスブレークと身体調整力及びリズムの向上を意識した練習
【女子バスケ】経験が少ない生徒へ配慮した練習方法と声がけの実施。実践的なメニューを行うため班レベルに応じた班分けでの練習。



特に工夫した事項

【軟式野球】
冬季間使用をしていない野球場からバッティング練習用のネットや防球ネット等を活用した練習の実施
【陸上競技】
運動公園敷地の地形を活用した練習の採用
陸上競技場内以外の場所で坂道トレーニングを実施



今後の課題と対応方針

【陸上競技】　種目別の指導においては、競技団体と連携した専門的な指導者の派遣。
【全体】　地域移行の過渡期における学校部活動と休日地域部活動の住み分け。（中総体時期は大会に向けて部活動中心となる。）夏休み、冬休みは地域活動をメインとするなど。

2．実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

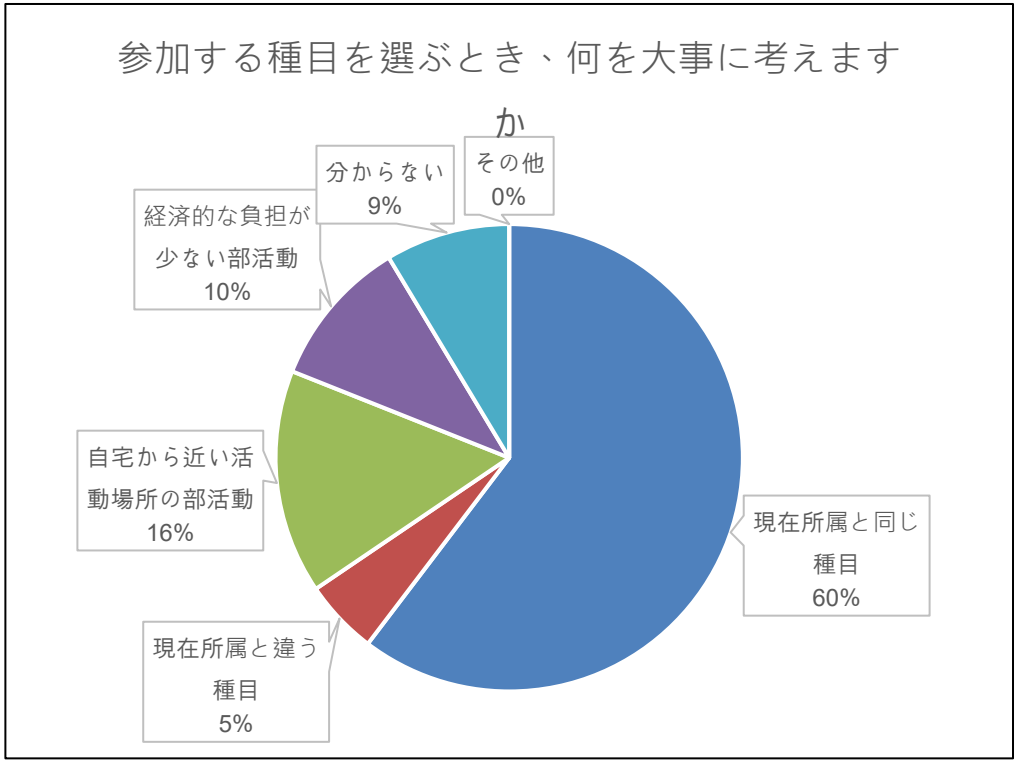
▼取組項目名：カ：参加費用負担の支援等

取組事項

○練習会の移動手段として３台の送迎バスを運行した。（北方面、南方面、西方面）
○地域移行に向けて、経費の内容を確認する目的から、指導者への謝礼、保険料、会場使用料について事業主体である宮古市が負担した。
○生徒、保護者の負担に関する意見を聞き取るためアンケート調査を実施し、負担の考え方を把握。

取組の成果

○送迎バスを運行したが、利用者は、全体の７％のみの利用に止まった。
○保険料は、1日開催であることから、民間の傷害保険をかけて開催した。回数が少ない場合は、民間の傷害保険の掛け金が割安であった。年間を通じて複数回の開催の場合は、スポーツ安全保険を活用すれば割安となる。
○実証事業のアンケートでは、地域部活動に参加する際に費用負担が少ないとこを求める声があった。



特に工夫した事項

○地域スポーツ活動の練習会実施日が同一日である場合は、送迎バスの運行行程を効率化した。
※2月４日は軟式野球、女子バスケであったため北方面、南方面、西方面から、各会場を経由した運行を実施した。
○バスの運行にあたって、申込みの際に移動方法を確認した。しかし、急遽利用する場合を想定し、申込みの有無に関わらず、すべて運行した。

今後の課題と対応方針

○送迎バスを運行したが、ほとんどの利用者が保護者送迎であった。しかし、潜在的に交通手段が確保できず部活動に参加できない場合も想定されることから、移動手段への支援は必要である。
○貸切送迎バスでの移動の支援は、広い市域をカバーするには、費用対効果が良くない。
○上記のことから、移動手段の支援は、公共交通機関の利用促進と併せ、「部活パス」的な取組も検討する必要がある。

2．実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：キ：学校施設の活用等

取組事項

○学校施設　　：女子バスケットボール競技は、第一中学校の体育館を会場といて活用。
○社会体育施設　：ラグビー競技は、宮古市民総合体育館、陸上競技は、宮古運動公園陸上競技場を会場として活用。
○民間の体育施設：軟式野球競技は、グリーンピア三陸みやこ多目的アリーナを会場として活用。

取組の成果

○学校施設を活用することで、施設利用料の負担が軽減された。
○社会体育施設、民間の体育施設を活用することで学校施設ではできない練習や体験が可能であった。
※陸上競技：県内外の高等学校の選手の練習している姿を自身の練習の参考とすることができた。
冬季、学校のグラウンドは使用しにくい状況であるが、陸上競技場を使用し思い切り練習できる。
陸上競技場以外にも運動公園付近の坂道等を活用した練習ができた。
※軟式野球：テニスコート４面の広さがある室内練習場で、冬季間にノックなどのボールを使った練習ができた。

特に工夫した事項

○軟式野球競技
民間の体育施設（グリーンピア三陸みやこ多目的アリーナ）は人工芝の屋内施設である。
施設管理者からティーバッティング等の練習の際に、同じ場所で同じ動作を繰り返す練習を行うと人工芝が古くなっていることから傷む恐れがあるとの申し出が有。ラバーマットを敷いて練習を行った。

今後の課題と対応方針

○これまでの学校部活動での活動と同様に、学校の体育館や校庭を活用する場合は、「学校施設開放事業」での利用を行うことで、施設利用料の縮減を行うことはできる。
○社会体育施設、民間の体育施設を利用する場合は、使用料の負担があるが、練習を行ううえでメリットも多い。
・充実した施設で練習ができる　・他の団体との交流による技術の向上に向けた練習ができる。
○今後は、学校施設と社会体育施設の双方を活用し、練習の場とすることで生徒の経験や活動の充実を図る必要がある。

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

4　地域スポーツクラブ活動体制整備事業（実証事業）の実施について

本事業は、休日の部活動を段階的（令和５年度～７年度改革集中期間）に、地域への移行を推進するために、実証事業（試行）を行い運動部活動における地域連携、課題等の事例の掘起しを行うものである。

※各市町村への配分予算は１５０万円程度である。

年　度	方　向　性	実証の目的
令和５年度（初年度）	1. 学校の部活動の競技は無いが地域の受け皿として実施できそうな競技を試行として実施する。 2. 合同チームでの実施競技として、団体競技の中から試行として実施する。	1. 部活動の種目以外の多様な競技の実証を行う。 2. 合同練習等における課題の掘起し
令和６年度（２年目）	1. アンケート（生徒、保護者、学校関係者、各競技団体等）の結果等から、実証事業の実施競技を選択 2. 課題解決に向けた取組み方策の実証	1. アンケート等結果から、新たな実証競技での試行 2. 課題解決方策の試行
令和７年度（３年目）	1. 課題解決に向けた取組み方策の実証	

※岩手県から令和６年度の実証事業においても、希望調査を行う予定である旨の連絡が来ている。

5　令和５年度地域スポーツクラブの実証事業（試行）の候補競技について

候補競技選択のポイント	
部活動の地域移行の課題の中で、活動場所までの生徒の移動、活動費用の負担が課題の一部として挙げられる。予算・実施期間に制限があるため、初年度は、以下の競技において試行的に練習等を開催し実証を行う。 ○団体の合同チームの中から、まだ地域スポーツクラブとして活動していない団体競技を候補競技とする ○多様な種目（部活動実施競技にない競技）であり、受入れをできる団体が現在すでにある競技で試行的な実証を行う。	
区　分	候補競技・受入れ団体
合同チーム（男子・女子）	軟式野球（ＭＳクラブ（Ｋボール）等） 女子バスケットボール（バスケットボール協会等）
多様な種目	陸上競技（シーアリーナスポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブ）） ラグビー（ラグビースクール）

※令和６年度の実証事業：アンケート結果等を勘案し実証事業の候補競技選定予定

【宮古市部活動地域移行検討会　実証事業説明資料】

「令和５年度地域スポーツ活動体制整備事業委託　活用事業」

宮古市　部活動地域移行実証事業（試行版）

『冬の部活動を楽しもう！！』

現在、全国的に中学校の休日部活動の地域への移行が検討されています。

宮古市でも検討を始めており、このたび、国の委託事業である「地域スポーツ活動体制整備事業」を活用し、試行的に以下の競技において練習会を開催します。

日時　令和6年　1月27日（土）

【ラグビーフットボール】



1月28日（日）

【陸上競技】



申込期日：令和6年1月22日（月）まで

令和6年　2月　4日（日）



【軟式野球】【女子バスケットボール】

申込期日：令和6年1月25日（木）まで



※申込書の提出が必要となります。詳細は、別紙をご確認の上お申込みください

※未経験の方も参加できます。興味がある方は奮ってご参加ください。

主催／宮古市教育委員会　　お問合せ先／宮古市教育委員会生涯学習課　℡0193-68-9120

【各学校への周知チラシ】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

部活動地域移行実証事業に係る地域スポーツクラブ活動（試行）の開催

1　趣　旨

中学校の休日部活動の地域への移行が、全国的に検討されています。

現在、宮古市でも検討を進め始めたところです。令和５年度において、「地域スポーツクラブ活動実証事業（国の委託事業）」により、試行的に以下の競技を地域の方々と連携した練習会を開催します。

つきましては、下記のとおり練習会の参加者を募集しますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

なお、お申込みの際は、別紙申込書を記入し令和６年１月２２日までに各中学校にご提出くださいますようお願いします。

2　【陸　上　競　技】

（1）指導者：シーアリーナスポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブ）

（2）対象者：市内中学生希望者（１年生～２年生）

（3）活動の概要

期　日	時　間	場　所	内　容
１月 28 日（日）	14:00 ～16:00	宮古運動公園 陸上競技場	陸上競技（短距離走）中心のメニュー（走り方教室）

3　【ラグビーフットボール】

（1）指導者：宮古市ラグビースクール

（2）対象者：市内中学生希望者（１年生～２年生）

（3）活動の概要

期　日	時　間	場　所	内　容
１月 27 日（土）	14:00 ～16:00	宮古市民総合体育館（多目的体育室）	ランニング等、ハンドリング（パス練習等）、タグラグビー等　※状況で変更する場合があります。

4　その他

（1）移動手段：保護者の送迎等、会場までの送迎バスを運行します。（下記：運行表参照）

（2）服　装　：ジャージ等動きやすい服装、防寒着、スニーカー（上履き）

（3）持ち物　：着替え、タオル、飲み物　　その他：個人で必要と思われるもの

	発着	川井中	新里中	千徳駅	総合体育館	運動公園
西側	行き	12:30	12:55	13:15	13:30	13:50
	帰り	17:30	17:05	16:15	16:30	16:10

	発着	重茂漁協	運動公園	総合体育館
南側	行き	13:20	13:30	13:50
	帰り	16:40	16:30	16:10

	発着	田老一中	崎山中	二中	総合体育館	運動公園
北側	行き	12:30	12:55	13:15	13:30	13:50
	帰り	17:30	17:05	16:15	16:30	16:10

※上記運行表は、陸上競技の運行表です。ラグビーの運行表は上記運行の「西側」「北側」の発着地点の「運動公園」部分を削除した運行となります。

【各学校への周知説明文：陸上、ラグビー】

部活動地域移行実証事業に係る地域スポーツクラブ活動（試行）の開催

1　趣　旨

中学校の休日部活動の地域への移行が、全国的に検討されています。

現在、宮古市でも検討を進め始めたところです。令和５年度において、「地域スポーツクラブ活動実証事業（国の委託事業）」により、試行的に以下の競技を地域の方々と連携した練習会を開催します。

つきましては、下記のとおり練習会の参加者を募集しますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

なお、お申込みは、別紙申込書を記入し令和６年１月２５日までに各中学校にご提出くださいますようお願いします。

2　【　軟　式　野　球　】

（1）指導者：MSクラブ指導者、部活動指導員等

（2）対象者：市内中学生希望者（１年生～２年生）

（3）活動の概要

期　日	時　間	場　所	内　容
２月 ４日（日）	14:00 ～16:00	グリーンピア三陸みやこ 多目的アリーナ	守備、走塁、打撃等グループごとで練習予定 ※状況で変更する場合があります。
服装・持ち物：練習着及びジャージ等、防寒着（手袋）、グローブ、上履き、着替え、タオル、飲み物			

3　【女子バスケットボール】

（1）指導者：宮古市バスケットボール協会等

（2）対象者：市内中学生希望者（１年生～２年生）

（3）活動の概要

期　日	時　間	場　所	内　容
２月 ４日（日）	14:00 ～16:00	第一中学校体育館	スキルトレーニング（オフェンス、ディフェンス）、ゲーム形式　※状況で変更する場合があります。
服装・持ち物：練習着及びジャージ等、防寒着、バスケシューズ（上履き）、着替え、タオル、飲み物 ※個人でボールを持っている方はご持参願います。			

4　その他

（1）移動手段：保護者の送迎等、会場までの送迎バスを運行します。（下記：運行表参照）

	発着	川井中	新里中	千徳駅	市役所正面玄関前（女子バスケ降車、野球乗車）	第二中	GP三陸みやこ（軟式野球会場）
西側	行き	12:15	12:45	13:05	13:15	13:25	13:50
	帰り	17:45	17:15	16:55	16:45	16:35	16:10

	発着	重茂漁協	運動公園	市役所正面玄関前（女子バスケ・野球　乗降）	崎山中	田老一中	GP三陸みやこ（軟式野球会場）
南側	行き	12:25	12:35	12:55	13:10	13:30	13:45
	帰り	17:35	17:25	17:05	16:50	16:30	16:10

【各学校への周知説明文：軟式野球、女子バスケ】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料　地域クラブ活動写真：ラグビーフットボール競技



【 開　会 】





【アタック練習】



【 指導者紹介 】



【ラグビー：パス練習】



【試合形式での練習：タッチゲーム】



【 ウォーミングアップ 】



【 オフェンス・ディフェンス練習】

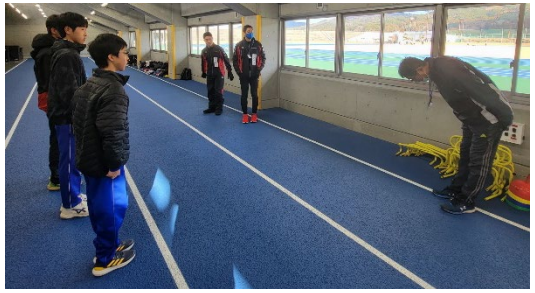


【 閉　会 】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料　地域クラブ活動写真：陸上競技



【 開 会 】



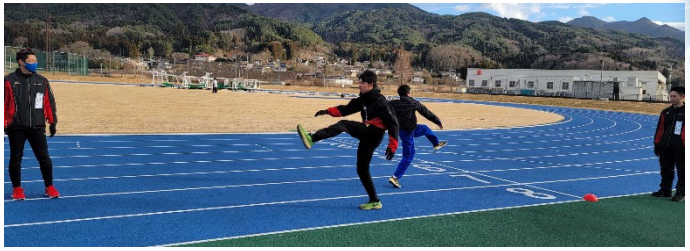
【 指導者紹介 】



【 ウォーミングアップ 】



【ウォーミングアップと体の調整力向上】





【 ウォーミングアップと体の動き作り】



【ミニハードルで走るリズム作り】









【坂道ダッシュ】

【 閉 会 】



2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料　地域クラブ活動写真：軟式競技



【 開 会 】



【 指導者紹介 】





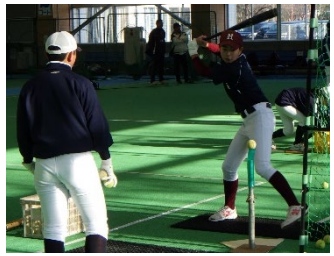
【ウォーミングアップとリズムにのって体の調整力向上】





【 キャッチボール・キャッチボールクラシック】









【 打撃班：置きティーバッティング・
打球速度・スイング速度測定 】







【守備班：ノック】



【 閉 会 】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料　地域クラブ活動写真：女子バスケットボール競技



【 開 会 】





【 指導者紹介 】



【ウォーミングアップとアイスブレイク】
※タグラグビー



【 シューティング練習】



【 ドライブ練習 】



【 対人練習：１ｏｎ１ 】



【対人練習： 2 on 2 】



【ゲーム形式】



【 閉 会 】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和５年度

○検討会設置、検討開始

○実証事業実施

○実証事業での課題等把握

令和６年度

○検討会の協議
○再々々委託での実証事業実施

○次年度地域クラブ設置に向けた課題解決

令和７年度

○地域クラブ活動の開始（段階的）

○地域クラブ活動の拡大及び実施競技の拡大の検討

【 課 題 】

●地域クラブ試行実施による指導者等の意見

・指導者、指導体制の受け皿の選定

・指導者間、競技団体間の協議による体制の整備

・教員の参加に係る体制の整備
※指導はできるが、転勤もある。

・指導競技によっては、複数種目の指導者が必要となる。

●拠点施設の活動において移動手段の支援
・送迎バスでの移動は、経費がかかる。
・保護者の送迎や自転車・徒歩移動が多いが、様々な施設を活用した活動となる場合の支援方法の確立が必要

【 対応（素案） 】

●受け皿として仮に競技団体を想定した場合、年間の大会運営に追われ新たな事務が追加されると対応できない。
➡宮古市体育協会等に地域クラブの運営の受け皿を担うなどの手法が考えられる。
【理由】
・競技団体との連携 ・指導者の育成
・コーディネーターの資格者の存在
●公共交通機関の活用と担当課との連携
➡地域クラブへの参加者への移動経費支援

【 地域移行に向けた課題解決 】

●宮古市体育協会との協議
●各競技団体との協議
●アンケート調査結果を踏まえた関係者協議（学校等）

●移動手段の支援に係る公共交通担当課との連携
●受け皿となる体制の整備

●次年度に地域移行で実施できる地域スポーツクラブの検討と調整

【 方向性（素案）のポイント 】

●受け皿の体制整備（仮）宮古市体育協会
●受け皿団体への支援（委託or補助金）
●指導者の確保
●関係団体等の方向性の合意形成

【 方向性の決定 】

●受け皿の体制整備
●受け皿団体への支援方法の決定
●各関係団体と合意形成
●実施可能な地域クラブ団体の活動開始に向けた協議

【 段階的な地域クラブ活動の開始 】

●移行可能な競技から移行実施

3．今後の方向性

スポーツ庁

地域連携･地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

	2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）
宮古市・ 市教育委員会	●実証事業実施 ・アンケート調査・取纏め ・地域クラブ試行実施 ●実証結果の取纏め ●学校関係者への説明の実施	●実証事業実施 ・地域クラブ試行実施 ●受け皿となる体制の検討 ・各関係団体との協議・調整	●実証事業実施 ・受け皿となる団体等による一部競技での地域クラブの試行実施 ●地域クラブ実施準備
	○具体的取組み ・アンケート実施（市内全中学校、小学校（4～6年生）、関係団体等） ・地域クラブ活動（試行） ラグビー、陸上、軟式野球、女子バスケットボール ・校長会での説明	○具体的取組み ・委託による地域クラブの実施 ・前年のアンケート結果を踏まえた体制の検討 ・受け皿体制の整備に係る関係団体協議（検討委員会関係、学校関係、競技団体関係、PTA関係、外部指導者　等）	○具体的な取組み ・受け皿体制での試行的な運営の協議 ※実施可能競技での試行的な地域クラブの実施 ・次年度の地域クラブ実施に向けた準備（地域クラブとしての団体登録、大会出場登録）
関係団体	●宮古市部活動地域移行検討委員会の開催 ●地域クラブ試行実施の指導者等打合せ	●宮古市部活動地域移行検討委員会の開催 ●受け皿としての体制の検討（学校関係、競技団体関係、外部指導者関係）	●宮古市部活動地域移行検討委員会の開催 ●受入れ体制の団体の試行な地域クラブ運営の実施
	○具体的な取組み ・検討委員会での意見 ・試行的練習会の開催に伴う意見の徴取	○具体的な取組み ・検討委員会での意見 ・指導者、競技団体との体制の協議 ・指導者の育成への協力・連携	○具体的な取組み ・受入れ体制の整備に伴う試行的な地域クラブの実施 ※実施可能な競技で試行